

カレード通信 Vol.101

2026年 3月号

March

日	月	火	水	木	金	土
1 料理教室	2	3 赤	4	5	6	7 子 陶芸 椿の実搾油体験・ケーキ作り
8 英	9	10 赤 シフォンケーキ料理教室	11	12	13	14 子 陶芸 旬の野菜の料理教室
15 子	16	17 赤	18	19	20	21 子 陶芸
22 子 ボードゲーム体験会 かがく実験教室	23	24	25	26	27	28 子 陶芸
29	30	31 シフォンケーキ料理教室				

＊おはなし会情報＊

会場：児童コーナー(パオ)
時間：10:30～11:00
参加無料・申込不要

赤 あかちゃんおはなし会
 ＊第1火曜日
 ＊第2火曜日
 ＊第3火曜日

子 こどもおはなし会
 ＊毎週土曜日
 ＊第3日曜日
 ＊第4日曜日(隔月開催)

英 えいごのおはなし会
 ＊第2日曜日

図書館展示情報

一般展示 おくりもの

季節の行事やお祝い事など、1年を通して贈り物をする機会はさまざまありますが、春は特に饞別やお礼の品を贈るとい方が多いかと思えます。今月は「おくりもの」にちなんで、プレゼントの参考になるような品物やラッピング、手紙や言葉、さらには地球の恵みまで、とにかく幅広く集めてみました。あなたが贈りたいもの、もらって嬉しかったものは何ですか？

児童展示 はるまちのほんだな

だんだんと温かい日も増えて春ももうすぐそこまで来ていますね。春がやってくるワクワクした気持ちを感じられる本を集めました。早く春がこないかなあ～♪

YA展示 なりたい自分、見つけよう

新生活を目前に、期待で胸が膨らむ3月。今月は、読んでいただけでワクワクするような「なりたい自分を見つけるための本」を集めました。憧れの職業についての本や、素敵な考え方を教えてくれる本が盛りだくさんです。

このほか館内の様々な場所でも展示をしています。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色んな本と出会ってください♪

最新情報はコチラから！
 1X(旧Twitter)
 1Facebook

3月 カレードイベント情報!

カレードシネマ 『こわれること いきること』

日時/3月8日(日)
 開場: 13:00～受付開始
 開始: 13:30～16:00 ブックトーク、その後上映会
 会場/研修室・会議室 定員/50名(当日先着順)
 時間/126分 製作/2021年

東日本大震災時、家族の中で一人だけ生き残った遙は、深い贖罪の意識と喪失感に苛まれていた。専門学校卒業後、働き始めた地元の介護施設に、ある日、高校の恩師で吹奏楽部顧問だった小田由美子が入居してきて…。

ことばで遊ぼう! ボードゲーム体験会

日時/3月22日(日) 14:00～16:00
 会場/創作スタジオ1[工房]
 対象/8歳以上
 定員/12名(先着順)
 申込み/カレードにご来館、またはお電話で

能登町発祥のボードゲーム「ごいた」を使って遊ぼう! 子どもから大人まで楽しめます♪

withごいた

椿の実搾油体験・ケーキ作り 搾った椿油を使ってケーキを作ろう

日時/3月7日(土)
 ①10:00～12:00 ②14:00～16:00
 会場/キッチンスタジオ・創作スタジオ1
 持ち物/エプロン、三角巾、タオル、マスク、飲み物
 定員/各回8名(大人)(予約制)
 参加費/1,000円
 ＊各回とも同じ内容です
 申込み/カレードにご来館、またはお電話で

旬の野菜の料理教室

ご当地グルメで旅気分 ～春の香りを食卓に・日本の味～

日時/3月14日(土) 10:00～13:00
 会場/キッチンスタジオ
 持ち物/エプロン、三角巾、タオル、マスク、飲み物
 定員/16名(大人)
 参加費/1,000円
 申込み/カレードにご来館、またはお電話で

こども陶芸教室&初心者向け陶芸教室 4月～6月の部 参加者募集!

こども向け陶芸教室と、初心者向け陶芸教室の参加者を募集中! 陶芸を基礎から学べますよ♪

【開催クラス】
 ①こども向けクラス 毎週土曜10時～12時
 会費/12,000円(月4,000円)
 対象/小学生(小学3年生以下は保護者同伴)
 定員/10名(先着順・定員に達し次第受付終了)
 ②初心者向けクラス 毎週土曜14時～16時
 会費/15,000円(月5,000円)
 対象/中学生～大人(未経験もしくは経験3年未満の初心者のみ)
 定員/16名(先着順・定員に達し次第受付終了)

【開催期間】 4月～6月(月4回)(3カ月ごとの更新制)
【申込み】 カレードにご来館、またはお電話で

今月のおすすめ本 『私たちはなぜこんなに貧しくなったのか』

著者: 荻原 博子 出版社: 文藝春秋 分類ラベル: 332.1

歴史的な転換期になった。先の選挙の結果である。今回の選挙で消費税について考えた人も多いのではないだろうか。今月おすすめするのは、生活者の視点から経済の枠組みを解説することに定評がある著者が、消費税をはじめ平成の経済史を膨大なデータと当時の社会情勢を抱き合わせ、論じた作である。平成元年、消費税がなかった時代からどのような経緯で導入され、税率は引き上げられたのか。どれくらいの財源が生まれ、何に使われてきたのか。私たちは意外とその実態を知らない。さらに本書では郵政民営化、消えた年金問題、アベノミクスなど、現在の私たちの生活に大きな影響を与えた政策についても振り返り「暮らし」との因果関係を詳らかにする。「私たちはなぜこんなに貧しくなったのか」その問いは私たち自身に向けられる。政治の責任を負うのは、政治家ではなく私たちであり次の世代であるからだ。

来年の1月に所得税が引き上げられる。GDP率5%の軍事費増強が現実となれば、消費税を19%にしなければ間に合わないといわれる。円安は止まらず給料は増えない。生活はこの先耐えられるか。(スタッフY)

こちらの本は、カレードに1冊所蔵しています。